平成26年度宮城県学力学習状況調査 全体傾向について

東松島市教育委員会

- 1 実施日 平成26年10月28日 (火)
- **2 実施校及び受検児童生徒数** 市内小学校 9 校 第 5 学年 3 8 5 人、 中学校 3 校 第 2 学年 3 8 6 人
- 3 全体表〈観点別〉 数値は正答率 「全国」は参考値

対象		国語				算数・数学			英 語		
		正答率				正 答 率					
小	本市	61. 9				73. 2					
学	県	63.8				74.4					
5	全国	67.7				74.0					
年	観点	1	2	3	4	1)	2	3			
生	本市	67. 1	53. 1	60. 4	63.0	61.6	79. 7	73. 0			
	県	68.6	54.9	61.2	66.1	62.8	81.2	74.0			
	全国	61.3	61.6	66.0	71.0	63.5	80.8	73.4			
		正 答 率				正 答 率			正答率		
中	本市	61.9				56. 3			65. 5		
学	県	65.3				58.9			69.3		
2	全国	67.6				63.2			70.7		
年	観点	1	2	3	4	1)	2	3	1)	2	3
生	本市	73. 8	54. 1	57. 6	60. 9	53. 1	55. 9	56. 5	53. 5	69. 0	66. 3
	県	75.3	61.3	59.9	65.4	54.3	59.1	59.0	57.7	72.6	70.2
	全国	77.4	69.4	62.5	65.1	58.1	63.3	63.3	64.7	71.6	72.8
₽											

〈観点について〉

【国語】①話す・聞く能力 ②書く能力 ③読む能力 ④言語についての知識・理解・技能

【算数】①数学的な考え方 ②数量や図形についての技能 ③数量や図形についての知識・理解

【数学】①数学的な見方考え方 ②数学的な技能 ③数量や図形についての知識・理解

【英語】①外国語表現の能力 ②外国語理解の能力 ③ 言語や文化についての知識・理解

4 全体傾向について

(1) 小学校

- ①国語 話す・聞く能力が 5.8 ポイント全国値を上回ったものの、他の観点では、 $5.6\sim8.5$ ポイントほど下回った。
- ②算数 全ての観点で県や全国値に近づいている。

(2) 中学校

①国語 書く能力が全国値と比べ15.3 ポイント低い。

- ②数学 全国値と比べて数学的な技能が 7.4 ポイント、数量や図形などについての知識・理解が 6.8 ポイント低い。
- ③英語 全国値と比べて、外国語表現の能力が 11.2 ポイント、言語や文化についての知識 理解が 6.3 ポイント低い。

5 今後の課題

(1) 小学校

- ①特に国語においては、基礎的、基本的事項の定着をさらに進め、下位層の底上げを図る必要がある。
- ②国語では、文の長さを指定されたり、様々な条件が提示された場合に自分の意見や考えを 書くことができる力を付けていく必要がある。
- ③算数では、数値の見当を付けたり、与えられた条件を読み取って正解を求める力を付けて いく必要がある。

(2) 中学校

- ①全教科にわたり、基礎的、基本的事項の定着により、下位層の底上げを図る必要がある。
- ②国語では、指定された文字数や段落数で書いたり、伝えたい事柄を明確にして記述する力を付けていく必要がある。
- ③数学では、式の計算や方程式の解法や、関数の考え方など基礎的な事柄の定着をさらに図っていくことが求められる。
- ④英文の読み取る力や、正しい語順で書いたり、簡単な構文を活用して英文を書く力を付けていく必要がある。

6 その他

- (1) 小学校質問紙から
 - ・各質問項目においては、概ね全国学力学習状況調査と同様の傾向を示している。また、県 と比較しても同様の傾向を示している。
 - ・平日ゲームをする時間が 2 時間以上と回答している割合が、30.6 ポイントで県と比べて 6.5 ポイント高い。特に、4 時間以上ゲームをすると回答している割合が 10.6 ポイントと かなり高い割合となっている。
 - ・携帯電話やスマートフォンの所持率が 43.1 ポイントと県より 5.5 ポイント高く、所持者の 使用時間が 2 時間以上の割合が、11.1 ポイントと県と比べて 3.2 ポイント高い。5 時間以上使用している児童も 3 パーセントほどいる。

(2) 中学校質問紙から

- ・各質問項目においては、概ね全国学力学習状況調査と同様の傾向を示している。また、県と比較しても同様の傾向を示している。
- ・携帯電話やスマートフォンの所持率が 75.8 ポイントと県より 5.4 ポイント高く、所持者の 使用時間が 2 時間以上の割合が、29.0 ポイントと県と比べて 0.7 ポイント高い。5 時間以上使用している生徒も6パーセントいる。